

今月は「総体特集号」をお送りします!
様々なドラマがありました。紹介します!

ホッケー部 優勝 九州大会出場!!

6月19日(金)から長崎で行われる九州大会に出場します。必ず3位までに入り、顧問の「鮫島先生」と「高木先生」をインターハイに連れて行きます!応援お願いします!



快挙!
10連覇!



開会式

感動あり...

高鍋高校生の行進をご覧になりましたか?行進に参加したラグビー部、剣道部、テニス部男女、ホッケー部、ボート部の生徒は堂々と行進し、高鍋高校の「伝統」と「誇り」を示してくれました。

陸上部

個人8種競技

優勝 河野要世くん

団体 400m×4リレー

第4位 九州大会出場

快挙!個人
総合優勝!



涙あり...

ボート部 男女総合優勝

3年連続インターハイ出場!!

3年生を中心とした小艇4種目で優勝し、3年連続インターハイ出場を果たしました。全6種目制覇を目指し、ボート部員は今日も「青春」へ漕ぎ出しています!



女子バレー

笑顔あり...

ラグビー部 準優勝 九州大会出場!!

6月19日から宮崎で九州大会が行われます。高鍋高校ラグビー部としての誇りと自信を持って、戦ってきます。応援よろしくお願ひします。



剣道部

女子団体 第3位

男子個人ベスト8

※男子個人 九州大会出場



総体を迎えるにあたって今までの練習環境に感謝し、全員で道場の清掃をしました。また、今まで支えてくださった保護者やOBにも感謝し、感謝の気持ちを忘れずに試合に挑めたからこそ、団体で3位に入賞できたと思います。応援ありがとうございました。



宮崎県立
高鍋高等学校



〒884-0002
児湯郡高鍋町大字北高鍋 4262
TEL : 0983-23-0005
FAX : 0983-23-5096

陸上部 トップランナー 3年 河野要世くん

8種競技とは、全8種目を2日間に渡って行い総合得点を競う競技です。

【1日目】100m、走幅跳、砲丸投、400m

【2日目】110mハードル、やり投げ、走高跳、1500



河野君のデビュー戦は1年生の新人戦のとき。結果は5位。そこから戦いの日々が始まる。総体直前の県高校ジュニア大会では優勝していた。総体では、県記録を狙って調整。余裕の優勝かと思えたが…。

いよいよ総体。5/30当日の直前練習の時に左足に違和感。そして激痛が走った！得意の100m走は予定では「11秒4」。結果は「12秒2」。なんと、1秒のロス！得点は100点マイナス！結局その日は、本来の力を発揮することができなかった…。

そして翌日、肉離れた左足をテーピングで固定して挑んだ！2日目最初の競技「110mハードル」では暫定2位のライバルに300点近くマイナスで差をつけられていた。次のやり投げは相手が苦手としている競技だった。力を振り絞った。ライバルが20mのところ、42mを記録し、残り20点差まで追いついた。残り的高跳びで164cmを飛び、ここで形勢逆転。+12点。しかし、残りの競技は1500m。相手のダントツリードで迎えた最後の1周。残り200mで追い上げた。0.3秒差までつめた。結果は、総合得点4529点で総合優勝！2位とはたった9点差だった。

表彰式。陸上競技場に「高鍋高校校歌」が流れた。すると、観客席から自然と合唱が起こった。「鳴海が丘に～♪」他の学校では見られなかった光景だった。高鍋高校の伝統を肌で感じた瞬間だった。

仲間と一緒に校歌を歌えたことが一番うれしかったと彼は語った。



男子バドミントン部

思い返せば、僕らには一つ上の先輩がいなかった。さらに、初心者の集まりで正直、やる気の差があったかもしれない。しかし、最後の高校総体。キャプテンの僕へのサプライズ。「これまで二年間、この個性豊かなメンバーや先輩を先輩と思わない後輩をまとめ、引っ張ってくれてありがとう。」

「今日の先輩のようなかっこいい選手になれるようにがんばりたい。」

僕の目からは、堰を切ったように大粒の涙が止めどなく溢れた。「今日のこの言葉でこれまでの苦勞が報われました。キャプテンをやってよかったです。」悩んだ時期もあったが、部活動は、たくさんのことを教えてくれ、生涯の仲間を得ることができるかけがえのない時間だった。これからの受験勉強も人生の苦樂も仲間と共に戦っていけるような気がする。



弓道部



弓道部の3年生部員は女子3人だけ。高鍋東小・東中時代からずっと仲良しだった3人組だ。授業が終われば、誰よりも早く弓道場に行き、的を立てる塚（あづち）をきれいに整備し、ゴム弓でのウォーミングアップ後、真剣なまなざしで黙々と的に向かう。3人からは弓道が心の底から大好きで、うまくなりたいたいという気持ちがひしひしと伝わってくる。その姿は、下級生たちの手本だ。

3年間、いろいろな壁にぶちあたってきた。でも、どんな時も3人でとことん話しあい、どんな時も3人で乗り切ってきた。最後の高校総体は納得のいく結果ではなかった。でもこれからも3人揃って自分の夢をつかみとる。そしていつの日か3人揃ってまた弓を引きたい。

女子バスケ部

ずっとメンバーが揃わなかった。昨年はメンバーが5人しかいなかった。怪我に悩まされ、進路室でのミーティングで「高校総体に必ず出場する」と誓い、大会出場を泣く泣く2回も見送った。

新入生が5人も入部してくれた。怪我也治った。準備万端だった。結果は納得のいくものではなかったけど、私たちにとって、そこに立てたことに意味があった。

男子ハンドボール部

マネージャーが一人一人に作ってくれた手作りのお守り。力が出ました!!久しぶりのベスト8入り。準々決勝では、ベスト2の延岡高校とも堂々とプレーできました!感謝!



ボート部 インターハイへの道はすでに閉ざされていた…。

1000mレース、すでに3本中2本を先取されていた。

宮崎商業高校男子舵手付きクォドルブルは3年生を中心としたクルー編成であり、経験値体力ともに上回っていた。レース前ミーティングで監督の「勝敗が決まっても相手に対してどこまで自分たちの漕ぎができるか挑戦してみよう!」の言葉で、高鍋高校男子舵手付きクォドルブルは、最終レースを前に覚悟を決めた。序盤から一漕ぎ一漕ぎを大切に、自分たちのレースを展開。1.5秒差で宮崎商業高校を破り、歓喜の声を上げた! 全国大会への道は閉ざされていたが、2年生中心の彼らの奮闘は来年の全国大会につながるだろう! 今日富田浜で練習している。

